

# 保育者によるケアリング行動の分析

中野啓明

An Analysis of Caring Action by Kindergarten and Nursery Teachers

Hiroaki Nakano

## 1. 問題意識

校内暴力、いじめや不登校等の「教育病理」的問題は、日本だけではなく、欧米においても起きている。したがって、こうした「教育病理」的問題は、一種の文明病としての側面を持つとも捉えることができる。つまり、情報消費型の現代社会における人間関係の歪みや他者との弱いつながりに起因するという捉え方である。そこで、こうした「教育病理」的問題の解決方法の一つとして、「ケア (care)」「ケアリング (caring)」への理論的関心が高まってきている<sup>(1)</sup>。

この「ケア」「ケアリング」に関する研究の先駆者としては、ミルトン・メイヤーロフ (Milton Mayeroff)、リチャード・E・ハルト (Richard E. Hult, Jr.)、ネル・ノディングス (Nel Noddings) を挙げる<sup>(2)</sup>ことができるが、特に、ノディングスは、教育学の領域における「ケア」「ケアリング」研究の第一人者といわれている。

私自身も、ノディングスのケアリング論との関連で、以下の論文を発表してきた。

中野啓明、1999年、「メイヤーロフとノディングスの分岐点」、『新潟青陵女子短期大学研究報告』、第29号、71-80ページ。

中野啓明、1999年、「ハルトに対するノディングスの批判の観点」、『日本デューイ学会紀要』、第40号、107-112ページ。

中野啓明、2000年、「ケアする学習共同体論」、『日本デューイ学会紀要』、第41号、113-119ページ。

ところで、ノディングスは、ケアリングの教育方法として、「ティーチングの脈絡では、対話、練習 (practice)、奨励 (confirmation)<sup>(3)</sup>」という方法や、「モデリング」<sup>(4)</sup>を提案している。また、カリキュラム<sup>(5)</sup>についても、ケアリングに関する本質的な諸テーマを巡って組織されたユニバーサル・カリキュラムにすべきだとして、自己のケアリング、仲間内でのケアリング、見知らぬ者や遠い他者のケアリング、動物、植物、地球のケアリング、人工的世界のケアリング、観念のケアリング<sup>(6)</sup>をカリキュラムの領域にすべきだとしている。

しかしながら、ノディングスのケアリング教育の方法は、実際の教育実践の姿にまでは、結実されているとは言い難い。そこで、本稿では、幼稚園・保育所に勤務する保育者におけるケアリング行動の実際を、アンケート調査をもとに分析する。なお、アンケートの実施先を幼稚園・保育所としたのは、小学校や中学校よりも、ケアリングに満ちていると考えたからである<sup>(7)</sup>。

## 2. アンケート調査の概要

### (1) 調査設計

- ① 調査地域：新潟県内全域
- ② 調査依頼先：
  - a. 公立保育所110園 330名（各園から年齢層に配慮した3名の抽出を依頼）
  - b. 私立保育所 70園 210名（各園から年齢層に配慮した3名の抽出を依頼）
  - c. 公立幼稚園 29園 87名（各園から年齢層に配慮した3名の抽出を依頼）
  - d. 私立幼稚園教諭 308名

計 935名
- ③ 調査方法：質問紙法（施設へ各3部配布後、個別に回収。ただし、私立幼稚園教諭は、研修会のさいに会場で配布、回収）
- ④ 調査時期：平成12（2000）年7月

### (2) 調査項目

実際に調査項目を作成するにあたって、1994年から1999年までの日本保育学会の機関誌『保育学研究』などを調べてみた。しかしながら、保育者が行うケアリングに焦点をおいた論文は、見いだすことができなかった。

そこで、わたしのこれまでの幼稚園・保育所におけるかかわりから、幼稚園・保育所で行われているケアリングの内容を、以下の項目から、100問設定した。

- ① 保育者の子どもに対するケアリング-----設問1)～48)、及び98)～100)  
なお、100)は、主として乳児に対する内容であるので、幼稚園用の調査票からは除外した。
- ② 子ども同士のケアリング・環境構成へのケアリング-----設問49)～87)
- ③ 保護者へのケアリング-----設問88)～97)

(3) 回収数 666通（回収率 71.2%）

### (4) 回答者の主な属性

回答者の主な属性は、次の通りである。

表1 回答者の属性：性別

	度 数	パーセント	累積パーセント
男 性	5	0.76	0.76
女 性	650	99.24	100.00
合 計	655	100.00	

表1で示したように、性別では、99.2%が女性と圧倒的に多かった。

表2 回答者の属性：階層別の年齢区分

	度 数	パーセント	累積パーセント
20 代	258	39.69	39.69
30 代	128	19.69	59.38
40 代	212	32.62	92.00
50 代	52	8.00	100.00
合 計	650	100.00	

アンケート用紙に記載してもらった年齢をもとに、20代から50代までの4層に分け直した結果が、表2である。年齢層としては、20代が39.7%と最も多く、ついで40代が32.6%、30代が19.7%の順であった。

表3 回答者の属性：経験年数での区分

	度 数	パーセント	累積パーセント
3 年 まで	143	22.17	22.17
5 年 まで	53	8.22	30.39
10 年 まで	113	17.52	47.91
20 年 まで	141	21.86	69.77
30 年 まで	179	27.75	97.52
31 年 以上	16	2.48	100.00
合 計	645	100.00	

経験年数で見ると、新採用から5年目までの合計が30.4%であるが、11年から20年までが21.9%、21年から30年までが27.8%であった。

表4 回答者の属性：担当

	度 数	パーセント	累積パーセント
3 歳 児	168	25.97	25.97
4 歳 児	122	18.86	44.82
5 歳 児	149	23.03	67.85
3 歳以上児の混合	10	1.55	69.40
3 ～ 6 ヶ 月 児	3	0.46	69.86
6 ヶ 月 ～ 1 歳 児	10	1.55	71.41
1 歳 児	22	3.40	74.81
2 歳 児	39	6.03	80.83
3 歳未満児の混合	28	4.33	85.16
そ の 他 の 混 合	50	7.73	92.89
主に障害児を担当 主任(クラス担当なし)	4	0.62	93.51
そ の 他	29	4.48	97.99
そ の 他	13	2.01	100.00
合 計	647	100.00	

調査票では、自分の担当について、一つ選択してもらった。その結果が、表4である。

最も多かったのは、3歳児の担当で26.0%、ついで5歳児の担当が23.0%であった。

調査票を作成した段階では、「3・4歳児の混合」を担当している方ならば、「3歳以上児の混合」を選択するであろうと考えていた。しかしながら、回収された調査票の中には、「その他の混合」「その他」の欄に、たとえば「3・4歳児の混合」「1・2歳児の混合」等の記述が現れた。そこで、3歳以上児の担当と、3歳未満児の担当、その他に分けて、再集計を行った。その結果を表5で示す。

表5 回答者の属性：3歳未満児・3歳以上

	度 数	パーセント	累積パーセント
3 歳以上担当	468	72.33	72.33
3 歳未満担当	125	19.32	91.65
そ の 他	54	8.35	100.00
合 計	647	100.00	

3歳以上児の担当が、72.3%、3歳未満児の担当が19.3%であった。

### (5) 単純集計の結果

次に、各設問に対する単純集計の結果を、表6に示す。

表6 各設問の単純集計結果

	とてもあてはまる		どちらかといえばあてはまる		あまりあてはまらない		あてはまらない		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
1) 子どもの話は、うなずきながら聞いている。	374	56.4	278	41.9	11	1.7	0	0.0	663	100.0
2) 子どもの話を聞くときは、膝をつくなり、腰をかかめるなど、子どもの目の高さまで視線を低くしている。	328	49.3	318	47.8	18	2.7	1	0.2	665	100.0
3) つい、感情を顔に出してしまう。	71	10.8	331	50.3	224	34.0	32	4.9	658	100.0
4) 子どもが自分の視野の中に入る(目の届く)場所にいる。	191	29.0	380	57.8	74	11.2	13	2.0	658	100.0
5) 子どもの表情が暗いとき、声をかけている。	468	70.4	191	28.7	5	0.8	1	0.2	665	100.0
6) 子どもへの挨拶は、こちらからしている。	534	80.2	127	19.1	4	0.6	1	0.2	666	100.0
7) 子どもが困っているそぶりや表情を見せているときに、声をかけている。	395	59.6	245	37.0	20	3.0	3	0.5	663	100.0
8) 子どもが援助を求めなくとも、子どもの作業の進み具合を見て、遅れている子の手助けをしている。	138	20.8	374	56.4	141	21.3	10	1.5	663	100.0
9) 子どもが「できない」「教えて」というまでは、なるべく子どもにさせ、手出しをしていない。	136	20.5	407	61.5	113	17.1	6	0.9	662	100.0
10) 毎日、一人ひとりの子どもがどこで、誰と、何をして遊んでいるかを順番に見て回っている。	75	11.3	307	46.4	251	38.0	28	4.2	661	100.0
11) 「今日は主としてこの子の遊びを知ろう」というように、その日の保育で主としてかかわる子どもを特定している。	29	4.4	191	29.2	361	55.3	72	11.0	653	100.0
12) 発達の遅れがちな子など、特定の気になる子と主としてかかわっている。	78	11.8	291	44.1	235	35.6	56	8.5	660	100.0
13) 子どもから「先生」と呼びかけられても、「なあに」「どうしたの」と必ずしも答えられないときがある。	41	6.2	189	28.8	291	44.3	136	20.7	657	100.0
14) 発見したこと、驚いたことを子どもが話すときは、詳しく聞いている。	316	47.7	337	50.9	7	1.1	2	0.3	662	100.0
15) 嬉しかったことを子どもが話すときは、詳しく聞いている。	380	57.3	276	41.6	6	0.9	1	0.2	663	100.0
16) お家での出来事を子どもが話すときは、詳しく聞いている。	292	44.1	342	51.7	27	4.1	1	0.2	662	100.0
17) 友達とのいざこざを子どもが話すときは、詳しく聞いている。	381	57.4	265	39.9	17	2.6	1	0.2	664	100.0
18) 「先生〇〇しよう」「先生〇〇して」などの子どもからの援助の申し出に対しては、内容を詳しく聞いている。	205	31.1	395	59.8	56	8.5	4	0.6	660	100.0
19) 子どもを呼び捨てにしていない。	287	43.2	179	26.9	145	21.8	54	8.1	665	100.0
20) 今までできないことができたとき、子どもをほめている。	601	90.9	55	8.3	4	0.6	1	0.2	661	100.0
21) 上手にできたとき、子どもをほめている。	544	82.3	106	16.0	7	1.1	4	0.6	661	100.0
22) がんばっている様子が見られたとき、子どもをほめている。	579	87.5	81	12.2	2	0.3	2	0.3	662	100.0

	とてもあてはまる		どちらかといえばあてはまる		あまりあてはまらない		あてはまらない		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
23) 友達に親切にできたとき、ほめている。	516	78.4	130	19.8	9	1.4	3	0.5	658	100.0
24) 片づけのときに、片づけを手伝っている子を良いモデルとして「〇〇ちゃん、えらいね」「ありがとう」「すごいね」などとほめている。	423	63.9	205	31.0	27	4.1	7	1.1	662	100.0
25) 絵などの制作の作業を子どもが失敗しても、責めない。	414	62.8	221	33.5	20	3.0	4	0.6	659	100.0
26) 子どもがお漏らしをしても、「またなの」「ダメでしょ」などと責めない。	400	60.7	204	31.0	46	7.0	9	1.4	659	100.0
27) 「こんなこともできないの」「はやくしなさい」などとは言わない。	236	35.9	297	45.2	108	16.4	16	2.4	657	100.0
28) 子どもが「ヤダ」「したくない」「ダメ」といっても、「そんなこといわずにしようよ」などといって誘っている。	161	24.6	399	60.9	83	12.7	12	1.8	655	100.0
29) 「〇〇ちゃんなら、きっとできるよ」といって励ましている。	252	38.5	350	53.4	45	6.9	8	1.2	655	100.0
30) 怪我をするなどしても我慢しているときは、「偉いね」「すごいね」などといって励ましている。	257	39.2	277	42.2	96	14.6	26	4.0	656	100.0
31) 叱ることは極力控え、褒めるようにしている。	84	12.9	421	64.6	139	21.3	8	1.2	652	100.0
32) 悪いことをしたときは、「悪いことは悪い」といっている。	434	66.1	201	30.6	16	2.4	6	0.9	657	100.0
33) 悪いことをしたときも、「なぜそんなことをしたのか」理由を聞いている。	391	59.7	236	36.0	24	3.7	4	0.6	655	100.0
34) 叱るときは、理由を説明している。	359	54.9	273	41.7	21	3.2	1	0.2	654	100.0
35) 叱るときは、みんなの前で叱っている。	29	4.5	211	32.7	329	50.9	77	11.9	646	100.0
36) 叱るときは、廊下など、周囲の子どもの目が気にならない場所で叱っている。	79	12.2	303	46.8	220	34.0	45	7.0	647	100.0
37) 子どもを叱るときでも、子どもの手や肩を持つなどしている。	177	27.3	284	43.8	155	23.9	33	5.1	649	100.0
38) 友達を叩いたりしたとき、「悪い手だったね」などと言いながら、手を軽くピシッとたたく。	45	6.9	184	28.0	263	40.1	164	25.0	656	100.0
39) 汗をかいて着替えたりするときやおむつ交換のときは、柔らかくマッサージしたり、「気持ちよくなってよかったね」などと語りかけている。	223	34.7	245	38.2	137	21.3	37	5.8	642	100.0
40) 朝の出迎えのとき、子どもを抱っこしたり、頭をなでたりしている。	217	33.1	292	44.5	139	21.2	8	1.2	656	100.0
41) 朝、子どもがぐずったりするときは、手をつないだり、後ろからそっと抱いたりしている。	403	61.1	235	35.6	22	3.3	0	0.0	660	100.0
42) 「抱っこして」と言ってくる子どもには、「順番でね」などといってから抱っこしている。	225	34.5	289	44.3	114	17.5	25	3.8	653	100.0
43) 朝の自由遊びの時間などに、膝の上に抱っこしながら、折り紙やお絵かきを一緒にしている。	80	12.3	228	35.0	276	42.4	67	10.3	651	100.0
44) ほめるときは、頭をなでている。	247	37.8	280	42.9	116	17.8	10	1.5	653	100.0
45) 怪我をしたときは、体に触れながら、「イタイのイタイのとんでけー」などといっている。	198	30.4	266	40.9	157	24.1	30	4.6	651	100.0
46) 怪我をしたときは、ギュッと抱きしめている。	74	11.3	221	33.7	311	47.5	49	7.5	655	100.0
47) 子どもが泣いているときは、ギュッと抱きしめている。	161	24.7	328	50.3	146	22.4	17	2.6	652	100.0
48) 子どもが泣いているときは、頭をなでたり、背中をトントンしたりする。	232	35.8	337	52.0	72	11.1	7	1.1	648	100.0

	とてもあてはまる		どちらかといえばあてはまる		あまりあてはまらない		あてはまらない		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
49) 危険がない限り、遊びを制限していない。	203	31.1	356	54.6	85	13.0	8	1.2	652	100.0
50) 子ども同士のいざこざやトラブルが起こっている場面を見た場合、すぐに止めている。	22	3.4	135	20.6	389	59.5	108	16.5	654	100.0
51) 子ども同士のいざこざやトラブルが起こっている場面を見た場合でも、自分たちで解決できるように見守っている。	180	27.6	389	59.6	80	12.3	4	0.6	653	100.0
52) 子ども同士のいざこざやトラブルの場合に介入するときは、「○○ちゃんも貸してほしいんだって」などと、子どものいたいことを代弁するなどしている。	263	40.2	315	48.1	72	11.0	5	0.8	655	100.0
53) ケンカの様子を目撃したら、すぐに止めている。	35	5.4	138	21.1	341	52.1	140	21.4	654	100.0
54) ケンカの様子では、一方の子が泣いたら、止めている。	43	6.6	246	37.6	288	44.0	77	11.8	654	100.0
55) ケンカの様子では、怪我をしない限り、止めない。	46	7.0	194	29.7	288	44.1	125	19.1	653	100.0
56) 朝の自由遊びの時間や、延長保育の時間などは、遊戯室で遊ばせるなど、異年齢の子どもも遊べる場を設定している。(遊戯室にも何人かの保育者がいる)	463	70.5	145	22.1	40	6.1	9	1.4	657	100.0
57) 給食のときに年長児が年少児の盛りつけをするなど、縦割りの活動の場を設定している。	88	13.4	84	12.8	123	18.8	361	55.0	656	100.0
58) 子どもは、一日中自分のクラスの保育室にいるようにしている。	14	2.1	26	3.9	115	17.4	505	76.5	660	100.0
59) 他の保育室への出入りも認めている。	518	78.1	102	15.4	24	3.6	19	2.9	663	100.0
60) 子どもに何か説明するときは、全員が静かになってから行っている。	320	48.8	286	43.6	44	6.7	6	0.9	656	100.0
61) 子どもの7割程度がこちらを向いていれば、説明を始めている。	52	8.0	223	34.3	249	38.2	127	19.5	651	100.0
62) 子どもに説明をする前には、手遊びなどを行って注意をこちらに向けてから行っている。	284	43.1	284	43.1	75	11.4	16	2.4	659	100.0
63) 保育室にテーブルが出ている状態で、子どもに説明するときは、一人ひとり椅子に座らせてから行っている。	282	43.6	208	32.1	108	16.7	49	7.6	647	100.0
64) 保育室にテーブルが出ている状態で、子どもに説明するときでも、保育者の周りのスペースに子どもを集めてから説明を行っている。	113	17.5	227	35.2	218	33.8	87	13.5	645	100.0
65) 説明は短く、順を追って、行っている。	267	41.1	344	52.9	35	5.4	4	0.6	650	100.0
66) 子どもが作業手順を「わからない」といつてきたとき、わかるまで教えている。	233	35.9	363	55.9	50	7.7	3	0.5	649	100.0
67) 子どもが遊びに必要なものは、子どもが自由に取り出したり、片づけることのできる場所に置いている。	361	55.3	249	38.1	37	5.7	6	0.9	653	100.0
68) 特別なモノなどは、保育者に頼まなければ出てこない場所に置いている。	311	48.4	237	36.9	64	10.0	31	4.8	643	100.0
69) 粘土は一人に一箱用意している。	488	74.5	23	3.5	27	4.1	117	17.9	655	100.0
70) 一人ひとりにお道具箱を用意している。	509	77.9	23	3.5	19	2.9	102	15.6	653	100.0
71) 誰が使ってもいいようなハサミを、何本か一カ所にまとめておいてある。	215	33.1	73	11.2	68	10.5	293	45.1	649	100.0
72) 一つ一つ名前がついている全員のハサミを、一カ所にまとめておいてある。	165	25.5	32	5.0	54	8.4	395	61.1	646	100.0
73) ハサミは、一人ひとりがお道具箱にしまっていて、使うときは自分の箱から出している。	303	46.9	32	5.0	26	4.0	285	44.1	646	100.0
74) 一つの活動に没頭できる時間と場を保証している。	190	29.5	328	50.9	110	17.1	16	2.5	644	100.0

	とてもあてはまる		どちらかといえばあてはまる		あまりあてはまらない		あてはまらない		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
75) 一人ひとりの着替えを自宅から持ってきてもらって、ロッカーなどにいれてある。	533	81.7	55	8.4	23	3.5	41	6.3	652	100.0
76) 着替えは、園やクラスで共有のものを用意してある。	339	52.2	92	14.2	77	11.9	141	21.7	649	100.0
77) 子どもサイズの洋式トイレがある。	471	71.7	25	3.8	12	1.8	149	22.7	657	100.0
78) 椅子には、子ども一人ひとりの名前が書いてある。	28	4.3	8	1.2	29	4.4	589	90.1	654	100.0
79) 小学校のような一人用の机ではなく、折り畳み式のテーブルが置いてある。	503	77.0	38	5.8	17	2.6	95	14.5	653	100.0
80) テーブルには、一人ひとりの名前が書いてある。	155	23.7	72	11.0	54	8.3	372	57.0	653	100.0
81) 椅子に座らなくとも、床にすわったり、寝ころんでの活動も認めている。	333	51.2	178	27.4	91	14.0	48	7.4	650	100.0
82) 絵本の部屋やコーナーでは、子どもが自由に読んでいいことにしている。	524	80.0	90	13.7	23	3.5	18	2.7	655	100.0
83) 子どもが触れることのできる動物を飼っている。	304	46.6	80	12.3	59	9.0	210	32.2	653	100.0
84) 動物の餌やりや、糞の始末などを子どもにさせている。	124	19.1	118	18.2	113	17.4	294	45.3	649	100.0
85) 子どもが触れることのできる植物を植えている。	434	66.6	115	17.6	35	5.4	68	10.4	652	100.0
86) 植物の種まきや水やりなどを子どもにさせている。	309	47.5	158	24.3	63	9.7	121	18.6	651	100.0
87) 動植物に見たり、触れることのできるような場所へ散歩に行っている。	345	52.9	182	27.9	82	12.6	43	6.6	652	100.0
88) 連絡帳のやりとりを毎日行っている。	287	43.9	66	10.1	99	15.1	202	30.9	654	100.0
89) 特に必要があった場合は、連絡帳に記入している。	372	57.8	102	15.8	39	6.1	131	20.3	644	100.0
90) 特定の子の保護者に対して連絡等が必要な場合は、お手紙を持たせている。	290	45.2	128	19.9	80	12.5	144	22.4	642	100.0
91) 年齢別もしくはクラスごとのお便りを出している。	491	75.1	56	8.6	32	4.9	75	11.5	654	100.0
92) お便りには、子ども達の様子を書いている。	509	77.9	93	14.2	22	3.4	29	4.4	653	100.0
93) お迎えのとき、今日一日の様子を話している。	217	33.5	289	44.6	116	17.9	26	4.0	648	100.0
94) 気になることがあるときは、電話で保護者に連絡している。	405	61.7	161	24.5	65	9.9	25	3.8	656	100.0
95) 時間が許す限り、保護者からの相談にはのっている。	426	64.9	207	31.6	18	2.7	5	0.8	656	100.0
96) 病気や怪我のとき、すぐに保護者に連絡をとる。	549	83.4	101	15.3	6	0.9	2	0.3	658	100.0
97) 保育中に怪我をさせた場合、そのときの状況を保護者に説明し、謝罪している。	615	93.8	38	5.8	2	0.3	1	0.2	656	100.0
98) 給食等の時間のさい、食事の進まない子には、膝の上に抱いて食べさせている。	42	6.4	110	16.8	223	34.2	278	42.6	653	100.0
99) “たかいたかい”などの触れ合い遊びを行っている。	217	33.8	226	35.2	120	18.7	79	12.3	642	100.0
100) (主として乳児に対して) 授乳のときは、子どもを抱いて飲ませている。	221	75.7	33	11.3	9	3.1	29	9.9	292	100.0

「とてもあてはまる」という回答のうち、設問97)「保育中に怪我をさせた場合、そのときの状況を保護者に説明し、謝罪している。」が93.8%、設問20)「今までできないことができたとき、子どもをほめている。」が90.9%と、9割を越えていた。また、8割を越えた設問は、設問22)「がんばっている様子が見られたとき、子どもをほめている。」が87.5%、設問96)「病気や怪我のとき、すぐに保護者に連絡をとる。」が83.4%、設問21)「上手にできたとき、子どもをほめている。」が82.3%、設問75)「一人ひとりの着替えを自宅から持ってきてもらって、ロッカーなどにいれてある。」が81.7%、設問6)「子どもへの挨拶は、こちらからしている。」が80.2%、設問82)「絵本の部屋やコーナーでは、子どもが自由に読んでいいことにしている。」80.0%であった。

一方、「あてはまらない」という回答の中では、設問78)「椅子には、子ども一人ひとりの名前が書いてある。」が90.1%、設問58)「子どもは、一日中自分のクラスの保育室にいるようにしている。」が76.5%であった。

この設問78)と関連する設問としては、設問79)「小学校のような一人用の机ではなく、折り畳み式のテーブルが置いてある。」が、設問58)と関連する設問としては、設問59)「他の保育室への出入りも認めている。」がある。そこで、設問78)と設問79)、設問58)と設問59)のクロス集計をおこなった。その結果は、表7及び表8のとおりである。

表7 「79) 折り畳み式のテーブル」と「78) 椅子に名前が書いてある」のクロス表

			78) 椅子に名前が書いてある				合 計
			あてはま らない	あまりあて はまらない	どちらかと いえばあて はまる	と て も あてはまる	
79) 折り畳み式の テーブル	あてはま らない	度数 総和の%	90 13.85	1 0.15	0 0.00	4 0.62	95 14.62
	あまりあて はまらない	度数 総和の%	15 2.31	1 0.15	0 0.00	1 0.15	17 2.62
	どちらかと いえばあて はまる	度数 総和の%	22 3.38	7 1.08	3 0.46	6 0.92	38 5.85
	とてもあて はまる	度数 総和の%	458 70.46	20 3.08	5 0.77	17 2.62	500 76.92
合 計	度数 総和の%	585 90.00	29 4.46	8 1.23	28 4.31	650 100.00	

表8 「59) 他の保育室への出入りも認める」と「58) 一日中自分のクラスの保育室にいる」のクロス表

			58) 一日中自分のクラスの保育室にいる				合 計
			あてはま らない	あまりあて はまらない	どちらかと いえばあて はまる	と て も あてはまる	
59) 他の保育室へ の出入りも認 める	あてはま らない	度数 総和の%	12 1.82	1 0.15	3 0.45	3 0.45	19 2.88
	あまりあて はまらない	度数 総和の%	16 2.42	5 0.76	2 0.30	1 0.15	24 3.64
	どちらかと いえばあて はまる	度数 総和の%	59 8.94	33 5.00	9 1.36	0 0.00	101 15.30
	とてもあて はまる	度数 総和の%	418 63.33	76 11.52	12 1.82	10 1.52	516 78.18
合 計	度数 総和の%	505 76.52	115 17.42	26 3.94	14 2.12	660 100.00	



設問78)「椅子には、子ども一人ひとりの名前が書いてある。」は「あてはまらない」けれども、設問79)「小学校のような一人用の机ではなく、折り畳み式のテーブルが置いてある。」は「とてもあてはまる」という回答が、70.5%であった。また、設問58)「子どもは、一日中自分のクラスの保育室にいるようにしている。」は「あてはまらない」けれども、設問59)「他の保育室への出入りも認めている。」は「とてもあてはまる」という回答も、63.3%であった。

これは、小学校段階以上の教室の光景を想定した場合、全く異なった光景であるといえる。つまり、小学校では同じ教室で、「マイ・デスク」「マイ・チェア」という固定された場にいると考えられるからである。この点は、幼稚園・保育所と小学校との相違点といえよう。

### 3. 因子分析の結果と考察

アンケートでは具体的なケアリングの内容を個々に尋ねていったが、共通する因子を探るため、①保育者の子どもに対するケアリング、②子ども同士のケアリング・環境構成へのケアリング、③保護者へのケアリングの各調査項目ごとに、因子分析を行った。

なお、分析に使用した統計解析ソフトは、SPSSである。

#### 1) 保育者の子どもに対するケアリング

設問1)から48)、及び98)から100)までの因子分析の結果、15の因子が抽出された。

その結果を表9において示す。

スキンシップに関わる因子は、第3の因子「抱きしめるスキンシップ」、第4の因子「触れるスキンシップ」、第8の因子「乳児へのスキンシップ」の3つがあるが、「抱きしめるスキンシップ」は、「触れるスキンシップ」よりも体の接触の度合いが大きいものである。

なお、第14の因子「保育者の感情の表出」は、1項目のみなので、その他の因子として扱うことが適切であるように思われる。

以上の15の因子は、主として個々の子どもに対する保育者のケアリング行動として考えられる。

#### 2) 子ども同士のケアリング・環境構成へのケアリング

設問49)から87)までの因子分析の結果、14の因子が抽出された。

その結果を表10において示す。

これらの因子は、設問1)から48)、及び98)から100)までの因子分析の結果抽出された15の因子が個々の子どもに保育者が接するさいのケアリング行動であるの対し、子ども集団や、環境やモノなどへの対象に対する保育者のケアリング行動であるといえる。

#### 3) 保護者へのケアリング

設問88)から97)までを因子分析した結果、4つの因子が取り出せた。

その結果を表11において示す。

第1の因子「個別の説明・相談」では、それぞれの項目で0.4以上の因子負荷量であったが、第2の因子「お便りの活用」、第3の因子「連絡帳の活用」、第4の因子「病気や怪我への対応」ではそれぞれの項目が0.7以上の高い因子負荷量を示している。

表9 因子分析の結果1

因子名	質 問 項 目	因 子				
		1	2	3	4	5
ほめる	21) 上手にできたとき、ほめる	<b>0.808</b>	0.124	0.102	0.074	0.047
	23) 親切なとき、ほめる	<b>0.793</b>	0.109	0.075	0.045	0.054
	22) がんばっているとき、ほめる	<b>0.790</b>	0.144	0.034	0.036	0.152
	20) できないことができたとき、ほめる	<b>0.653</b>	0.134	-0.045	0.069	0.170
	24) モデルとしてほめる	<b>0.614</b>	0.080	0.044	0.190	0.056
こどもの話を詳しく聞く	15) 嬉しいことは詳しく聞く	0.180	<b>0.795</b>	0.024	0.063	0.135
	16) 家の出来事は詳しく聞く	0.125	<b>0.761</b>	0.145	0.115	0.093
	14) 発見や驚きは詳しく聞く	0.131	<b>0.745</b>	0.043	0.085	0.141
	17) いざこざは詳しく聞く	0.104	<b>0.515</b>	0.065	0.053	0.362
	18) 援助の申し出は詳しく聞く	0.116	<b>0.462</b>	0.151	-0.094	0.358
抱きしめるスキンシップ	46) 怪我をしたときは抱きしめる	0.074	0.051	<b>0.771</b>	0.011	0.023
	47) 泣いてるときは抱きしめる	0.048	0.136	<b>0.734</b>	0.183	0.018
	43) 抱いてお絵かきしたりする	0.025	0.047	<b>0.567</b>	0.203	-0.010
	45) 「イタイのイタイのとんでけ」という	0.036	0.040	<b>0.482</b>	0.185	-0.022
	48) 泣いてるときはトントンしたりする	0.205	0.181	<b>0.445</b>	0.320	-0.042
触れるスキンシップ	41) 手をつないだりそっと抱く	0.205	0.068	0.139	<b>0.715</b>	0.141
	40) 出迎えの時、抱いたりなでる	0.122	0.094	0.257	<b>0.625</b>	-0.067
	39) マッサージしたり、語りかける	-0.048	0.243	0.143	<b>0.432</b>	0.160
	42) 順番に抱っこする	0.048	0.074	0.280	<b>0.401</b>	0.195
	37) 叱るときも手や肩を持つ	0.023	-0.038	0.162	<b>0.359</b>	0.100
叱り方	33) 悪いことをした理由を聞く	0.145	0.241	-0.077	0.061	<b>0.722</b>
	34) 理由を説明して叱る	0.100	0.193	-0.023	0.236	<b>0.651</b>
	32) 「悪いことは悪い」という	0.116	0.099	0.061	-0.068	<b>0.621</b>
自尊心への配慮	25) 絵などを失敗しても責めない	0.130	0.176	0.063	0.031	0.134
	27) 「できないの」「はやく」といわない	-0.043	0.085	0.059	0.029	0.094
	26) お漏らししても責めない	0.036	0.140	0.032	0.132	0.022
励まし	28) 「ヤダ」といっても誘う	0.114	-0.039	0.091	0.003	0.143
	29) 「きっとできる」と励ます	0.147	0.192	0.104	0.043	0.127
	30) 怪我を我慢してるときは励ます	0.264	0.175	0.213	-0.103	0.194
	31) 叱らずにほめる	0.064	0.297	0.008	0.115	-0.075
乳児へのスキンシップ	100) 授乳の時、抱いて飲ませる	0.172	0.056	0.082	-0.009	0.076
	99) 触れ合い遊びをする	0.009	0.105	0.196	0.271	0.024
	98) 抱いて食べさせる	-0.092	-0.054	0.335	0.062	-0.101
声のかけ方	6) 挨拶はこちらからする	0.092	-0.028	0.088	0.162	0.144
	7) 困っているとき声をかける	0.161	0.283	0.194	0.072	-0.022
	5) 表情が暗いとき声をかける	0.231	0.205	0.034	0.114	0.102
観察の位置、姿勢	1) うなづく	0.091	0.139	0.060	0.042	0.125
	2) 視線を低くしている	0.061	0.210	0.144	0.047	0.124
	4) 視野の中に入る場所	0.116	0.173	-0.032	0.075	-0.179
	10) 順番に巡回	0.140	0.181	0.268	0.012	0.085
主に関わろうとする子	12) 気になる子とかかわる	-0.020	0.003	0.026	0.130	-0.003
	11) その日かかわる子を特定	0.012	0.114	0.059	0.167	0.115
	13) 呼びかけに答えきれない	-0.021	-0.261	0.033	-0.305	-0.018
叱る場所	36) 廊下などで叱る	-0.001	0.046	-0.008	0.102	0.161
	35) みんなの前で叱る	-0.019	0.076	-0.024	0.078	0.128
けじめのつけ方	19) 呼び捨てにしない	0.047	0.073	-0.047	-0.009	-0.078
	38) 手を軽くピシヤンと叩く	0.065	-0.055	0.068	0.203	-0.022
	44) ほめるときは頭をなでる	0.260	0.218	0.228	0.248	-0.145
保育者の感情の表出	3) 感情を顔に出す	-0.011	0.004	-0.004	-0.042	0.079
援助のスタート	9) なるべく手出しをしない	0.075	0.181	0.044	-0.004	0.057
	8) 進み具合をみて手助けする	0.149	0.177	0.060	0.103	-0.012

因子抽出法：主成分分析・回転法：Kaiserの正規化を伴うバリマックス法

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
-0.017	0.036	0.047	0.108	-0.027	0.024	0.074	-0.018	0.059	-0.057
0.041	0.126	-0.014	0.058	0.145	0.008	-0.038	0.063	-0.103	-0.027
0.049	0.005	0.026	0.118	0.113	-0.051	0.095	-0.027	0.059	0.036
0.144	0.068	0.239	0.112	0.034	-0.045	-0.073	-0.203	-0.077	0.143
-0.069	0.365	-0.025	0.029	-0.035	0.064	-0.097	0.141	0.060	-0.030
0.125	0.072	0.060	0.082	0.094	0.006	0.026	-0.004	0.005	0.047
0.076	0.125	0.001	0.080	0.044	0.014	-0.061	-0.002	0.022	0.076
0.170	-0.038	0.036	0.084	0.112	-0.047	-0.020	-0.025	0.039	0.051
0.050	0.083	0.108	0.088	0.156	-0.020	-0.041	-0.167	-0.031	-0.102
0.040	0.056	0.100	0.063	0.201	0.087	0.099	0.022	-0.137	-0.028
0.019	0.138	0.088	0.049	0.108	0.061	0.049	0.023	-0.052	0.050
0.017	0.158	0.012	0.124	0.045	-0.124	0.016	-0.130	-0.021	-0.029
0.010	-0.208	0.123	0.096	-0.022	0.185	0.023	0.240	-0.046	0.026
0.129	0.138	0.276	-0.061	0.171	-0.030	-0.165	0.102	0.159	-0.018
0.130	0.240	0.108	0.129	0.021	0.031	0.068	-0.089	0.269	-0.065
0.129	-0.028	0.037	0.170	0.030	0.056	0.006	-0.015	-0.054	-0.097
0.038	-0.001	0.199	0.152	0.158	0.050	0.045	0.056	-0.073	0.019
-0.016	-0.042	0.316	-0.005	0.320	0.111	0.014	0.170	-0.246	0.042
0.048	0.099	0.091	0.085	-0.149	0.153	-0.021	0.042	0.186	-0.070
0.095	0.156	-0.025	-0.122	0.358	-0.287	0.351	-0.037	0.127	0.151
0.156	0.069	-0.040	0.006	0.031	0.016	0.053	0.091	0.033	-0.050
0.102	0.100	-0.011	0.027	0.017	-0.001	0.003	-0.033	-0.054	0.071
-0.016	0.139	0.065	0.144	0.122	0.023	0.005	-0.019	0.153	0.094
<b>0.729</b>	0.017	0.031	0.103	0.081	-0.007	0.007	0.073	-0.014	-0.010
<b>0.689</b>	-0.020	0.032	0.050	0.119	0.047	0.107	-0.103	-0.242	0.081
<b>0.671</b>	0.008	0.090	0.025	0.066	-0.053	-0.030	-0.288	-0.018	0.039
-0.079	<b>0.659</b>	0.069	0.122	-0.002	-0.045	-0.042	-0.091	0.108	-0.009
0.069	<b>0.648</b>	0.006	0.141	0.062	0.111	-0.021	-0.001	-0.196	0.109
0.068	<b>0.444</b>	-0.048	0.057	-0.050	0.130	-0.062	0.149	-0.037	-0.119
0.241	<b>0.342</b>	0.074	-0.037	0.154	0.193	0.201	-0.108	-0.334	-0.010
0.105	0.064	<b>0.809</b>	-0.003	-0.021	-0.031	-0.082	-0.133	-0.088	0.022
0.036	-0.030	<b>0.685</b>	0.143	0.002	-0.019	0.089	0.058	0.149	-0.005
0.012	0.008	<b>0.445</b>	-0.035	0.117	0.085	0.134	0.212	-0.159	-0.286
0.036	0.136	0.106	<b>0.723</b>	0.025	0.018	-0.072	-0.023	0.032	0.074
0.078	0.057	0.025	<b>0.626</b>	0.121	0.051	0.091	0.124	-0.049	-0.159
0.124	0.106	-0.013	<b>0.588</b>	0.246	0.012	0.001	0.014	-0.070	0.011
0.173	0.083	0.016	0.144	<b>0.646</b>	-0.012	-0.019	0.056	-0.016	-0.119
0.137	-0.103	-0.021	0.075	<b>0.592</b>	0.099	0.046	-0.207	-0.002	0.087
-0.036	0.112	0.344	0.263	<b>0.429</b>	0.067	0.095	0.137	0.050	0.143
-0.257	-0.035	-0.029	0.147	<b>0.318</b>	0.272	-0.112	-0.073	-0.174	0.211
-0.033	0.087	-0.011	0.120	0.013	<b>0.720</b>	0.138	0.014	-0.016	0.043
0.026	0.081	-0.077	-0.091	0.085	<b>0.558</b>	0.055	-0.381	-0.132	0.083
0.065	-0.054	0.102	-0.119	0.053	<b>0.511</b>	-0.040	0.172	0.209	-0.130
0.030	0.037	-0.034	-0.062	0.037	0.123	<b>0.817</b>	0.018	0.040	0.032
-0.046	0.153	-0.076	-0.086	0.014	-0.045	<b>-0.704</b>	0.138	0.222	0.031
0.202	0.112	0.012	-0.123	0.080	0.081	0.126	<b>-0.643</b>	0.112	-0.049
-0.261	0.292	0.020	-0.247	0.187	0.031	-0.026	<b>0.452</b>	0.214	-0.021
0.127	0.232	0.015	0.020	-0.023	0.149	0.109	<b>0.364</b>	0.231	0.163
-0.189	-0.038	-0.012	-0.044	0.005	0.005	-0.094	-0.023	<b>0.717</b>	0.043
0.037	0.086	0.013	0.083	0.048	0.170	0.056	0.034	0.128	<b>0.749</b>
-0.108	0.122	0.042	0.214	0.026	0.292	0.039	-0.041	0.191	<b>-0.548</b>

表10 因子分析の結果2

因子名	質問項目	因子			
		1	2	3	4
トラブルを止める タイミング	50) トラブルはすぐ止める	<b>0.829</b>	0.020	-0.019	-0.003
	53) ケンカはすぐに止める	<b>0.829</b>	0.058	0.013	-0.010
	54) 一方が泣いたらケンカは止める	<b>0.597</b>	-0.102	-0.003	-0.117
作業のさいの 配慮	65) 説明は短く、順を追って	-0.026	<b>0.647</b>	-0.042	-0.037
	66) わかるまで教える	0.075	<b>0.614</b>	-0.026	0.053
	60) 全員が静かになってから説明する	0.049	<b>0.563</b>	0.168	-0.037
	74) 没頭できる時間と場を保証	-0.008	<b>0.509</b>	0.146	0.179
	67) 自由に取り出せる場所に置いている	-0.065	<b>0.497</b>	-0.012	0.003
61) 7割程向けば説明する	0.259	<b>-0.415</b>	0.067	-0.031	
一人ひとりの 道具	70) 一人ひとりお道具箱	-0.031	0.011	<b>0.772</b>	0.090
	69) 粘土は一人一箱用意	-0.022	0.020	<b>0.732</b>	-0.094
動物への ケアリング	83) ふれることのできる動物がいる	-0.056	0.033	-0.020	<b>0.825</b>
	84) 餌や糞の始末をさせる	-0.053	0.033	0.048	<b>0.779</b>
植物への ケアリング	86) 種まきや水やりをさせる	-0.075	0.022	0.164	0.251
	85) ふれることのできる植物がある	-0.058	-0.029	-0.027	0.204
	87) 動植物のいる公園へ散歩に行く	0.115	0.111	-0.073	-0.051
いざこざへの 対処能力の 育成	49) 危険がない限り遊びは制限しない	0.009	0.080	-0.014	0.127
	51) トラブルも自分達で解決できるよう見守る	-0.217	0.266	0.099	-0.071
	55) 怪我をしない限りケンカは止めない	-0.338	0.007	0.090	0.004
よく使う 道具の 置き場所	72) まとめて置いておく(名前付)	0.013	-0.062	0.142	0.132
	73) ハサミはお道具箱にある	0.026	0.045	0.509	0.162
部屋への出 入り自由度	82) 絵本は自由に読んでよい	0.026	0.206	0.040	0.212
	59) 他の保育室への出入りも認める	-0.067	-0.016	0.188	0.024
	81) 寝ころんでの活動も認める	0.033	-0.011	-0.124	-0.018
異年齢児 との交流 の配慮	56) 異年齢の子とも遊べる場を設定	-0.018	0.161	0.010	-0.124
	58) 一日中自分のクラスの保育室にいる	0.169	0.028	-0.052	-0.084
	75) 着替えはロッカーに置く	-0.071	0.013	-0.203	-0.193
説明時の 集合形態	64) 周りに集めてから説明する	0.014	0.149	-0.039	0.018
	63) 椅子に座らせてから説明する	0.161	0.188	0.219	-0.060
個別の対応	68) 特別なモノは保育者に頼む	0.082	0.079	0.021	-0.055
	78) 椅子に名前が書いてある	0.150	0.005	0.046	-0.120
	52) トラブルの介入時は代弁者となる	0.224	0.195	-0.129	-0.062
集団活動 への配慮	79) 折り畳み式のテーブル	-0.054	-0.039	-0.067	0.168
	80) テーブルに名前が書いてある	0.142	0.043	0.354	-0.123
	62) 手遊びをしてから説明する	0.113	0.219	-0.109	-0.009
クラスを 越えた活動 への配慮	57) 縦割り活動の場を設定	0.042	0.048	-0.030	0.334
	71) 共用のハサミ	-0.130	0.025	-0.351	-0.278
トイレ・着 替えの配慮	76) 着替えは共用	-0.102	0.001	0.148	0.058
	77) 子どもサイズの洋式トイレ	0.064	0.092	-0.014	0.149

因子抽出法：主成分分析・回転法：Kaiserの正規化を伴うバリマックス法

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
0.051	-0.226	-0.019	-0.035	-0.069	0.033	-0.035	0.022	-0.005	0.014
-0.009	-0.231	0.023	-0.147	0.004	-0.024	-0.040	-0.003	0.005	0.043
-0.082	0.153	0.040	0.259	-0.142	-0.137	0.116	0.032	0.071	-0.094
-0.081	0.063	0.002	0.005	0.050	0.173	0.247	0.155	0.025	0.057
-0.072	0.106	-0.093	-0.046	0.182	-0.136	-0.080	0.052	0.094	0.060
0.150	0.002	0.061	0.235	-0.205	-0.218	0.219	0.010	-0.104	-0.245
0.224	0.020	0.082	-0.047	0.133	0.258	-0.095	-0.197	0.065	0.152
0.135	0.226	-0.117	0.324	-0.026	0.088	0.011	-0.039	-0.078	0.093
-0.115	0.231	-0.059	-0.140	0.222	0.279	0.112	0.153	0.372	0.171
0.012	0.104	-0.044	0.088	-0.011	0.000	0.013	-0.092	0.011	0.076
0.044	-0.025	0.052	0.011	-0.006	-0.174	-0.042	0.058	-0.050	0.013
0.124	0.009	0.046	0.065	-0.034	0.000	0.038	0.051	0.024	0.136
0.244	0.036	-0.010	0.101	-0.083	0.077	-0.027	0.050	0.183	0.038
<b>0.765</b>	0.069	-0.082	0.052	-0.074	-0.015	-0.061	-0.041	0.118	0.020
<b>0.698</b>	-0.010	-0.049	0.197	0.035	-0.096	0.028	0.135	-0.018	0.078
<b>0.641</b>	0.077	0.003	-0.133	0.241	0.141	0.064	-0.050	0.010	-0.021
-0.040	<b>0.609</b>	0.057	0.014	0.315	-0.051	-0.055	-0.025	-0.055	-0.052
0.145	<b>0.588</b>	-0.028	0.070	0.033	-0.012	0.056	0.006	0.067	-0.069
0.040	<b>0.582</b>	0.058	-0.055	-0.122	0.000	-0.088	0.013	0.092	-0.062
-0.082	0.110	<b>0.840</b>	-0.032	-0.102	0.042	0.048	0.000	-0.016	-0.021
0.051	0.095	<b>-0.676</b>	-0.090	-0.059	0.123	-0.058	-0.039	-0.030	-0.124
-0.079	-0.122	-0.064	<b>0.600</b>	0.098	0.079	0.015	0.111	0.014	-0.048
0.159	0.022	0.132	<b>0.546</b>	0.239	-0.006	0.231	-0.064	0.140	0.026
0.108	0.349	0.000	<b>0.530</b>	-0.060	0.140	-0.076	0.045	-0.102	0.218
0.084	0.131	-0.029	0.058	<b>0.643</b>	-0.127	-0.068	0.015	0.157	-0.052
-0.035	0.085	0.077	-0.248	<b>-0.622</b>	0.063	-0.229	0.114	0.188	0.004
0.155	0.145	0.007	-0.093	<b>0.405</b>	0.151	0.063	0.272	-0.105	-0.121
0.000	0.003	-0.017	0.084	-0.095	<b>0.790</b>	0.032	0.107	0.121	-0.022
-0.033	0.065	-0.017	-0.087	0.043	<b>-0.636</b>	0.104	0.243	0.218	0.072
-0.003	-0.036	0.169	0.065	0.008	0.050	<b>0.674</b>	0.063	0.099	0.000
-0.020	0.112	0.245	-0.038	-0.061	0.107	<b>-0.545</b>	0.086	0.150	0.007
-0.001	0.200	0.199	-0.085	0.059	-0.009	<b>0.378</b>	0.148	-0.194	0.310
0.004	0.028	-0.092	0.050	-0.087	-0.057	0.018	<b>0.695</b>	-0.186	0.113
-0.014	-0.188	0.249	-0.012	0.021	0.086	-0.242	<b>0.529</b>	0.133	-0.037
0.075	0.055	0.118	0.086	0.168	-0.013	0.298	<b>0.444</b>	0.162	-0.086
0.083	0.067	0.017	0.010	-0.001	-0.013	-0.003	-0.100	<b>0.662</b>	-0.058
0.192	-0.194	0.021	0.278	-0.088	0.012	-0.183	0.010	<b>0.426</b>	0.162
0.005	-0.100	-0.191	0.005	-0.183	0.006	0.181	-0.035	0.268	<b>0.653</b>
0.076	-0.063	0.166	0.094	0.015	-0.070	-0.113	0.061	-0.171	<b>0.640</b>

表11 因子分析の結果 3

因子名	質問項目	因子			
		1	2	3	4
個別の説明・相談	90) 必要な時は手紙を持たせる	<b>0.726</b>	-0.056	-0.079	-0.346
	95) 保護者からの相談にはのる	<b>0.636</b>	0.127	0.112	0.307
	94) 気になることは電話で連絡	<b>0.630</b>	0.123	-0.023	0.253
	93) お迎えのとき、一日の様子を話す	<b>0.446</b>	0.119	-0.003	0.196
お便りの活用	91) 年齢別・クラスごとのお便り	0.085	<b>0.894</b>	-0.002	0.060
	92) 子どもの様子をお便りに書く	0.162	<b>0.877</b>	0.060	0.065
連絡帳の活用	89) 必要なとき連絡帳に記入	0.118	-0.035	<b>0.872</b>	-0.024
	88) 連絡帳のやりとりを毎日する	-0.123	0.092	<b>0.858</b>	0.095
病気や怪我への対応	96) 病気や怪我の時はすぐ保護者に連絡	0.181	0.072	0.066	<b>0.751</b>
	97) 保育中の怪我は説明し、謝罪	0.125	0.035	-0.001	<b>0.730</b>

因子抽出法：主成分分析・回転法：Kaiserの正規化を伴うバリマックス法

#### 4. 因子間の関連の分析

抽出された因子間、及び回答者の属性中の4層化した「階層別の年齢区分」と、6層化した「経験年数での区分」との相関関係を調べるために、相関分析を行った。

その結果を、表12-1から表12-4示す。なお、保育者の子どもに対するケアリングに関する因子はa1～a15、子ども同士のケアリング・環境構成へのケアリングに関する因子はb1～b15、保護者へのケアリングに関する因子はc1～c4とした。

$r = .40$ 以上についてみていくと、因子a1「ほめる」と因子a7「励まし」、因子a2「子どもの話を詳しく聞く」と因子a5「叱り方」、因子a2「子どもの話を詳しく聞く」と因子a7「励まし」、因子a2「子どもの話を詳しく聞く」と因子a9「声のかけ方」、因子a2「子どもの話を詳しく聞く」と因子a10「観察の位置、姿勢」、因子a3「抱きしめるスキンシップ」と因子a4「触れるスキンシップ」、因子a3「抱きしめるスキンシップ」と因子a8「乳児へのスキンシップ」、及び因子a9「声のかけ方」と因子a10「観察の位置、姿勢」との間で、強い相関が見られた。

しかしながら、「階層別の年齢区分」及び「経験年数での区分」と各因子との間では  $r = .30$  以上の関連は見られなかった。したがって、他の分析方法によって、今後検討する余地があるといえる。

なお、担当別（3歳以上児の担当、3歳未満児の担当、その他）を要因とした分散分析を行った。有意な結果が示された因子は、表13に示すとおりである。

$P < .01$ の有意差が示された14の因子について、グループ内の差異を個々に見ていった結果が、表14である。

3歳以上児担当と3歳未満児担当との間で有意差が示されたのは、因子a3「抱きしめるスキンシップ」、因子a4「触れるスキンシップ」、因子a5「叱り方」、因子a8「乳児へのスキンシップ」、因子a10「観察の位置、姿勢」、因子a13「けじめのつけ方」、因子b2「作業のさいの配慮」、因子b3「一人ひとりの道具」、因子b4「動物へのケアリング」、因子b8「部屋への出入り自由度」、因子c3「連絡帳の活用」の11因子であった。

また、3歳以上児担当とその他の担当との間で有意差が示されたのは、因子a8「乳児へのスキンシップ」、因子a11「主に関わろうとする子」、因子b10「説明時の集合形態」、因子b13「クラスを越えた活動の配慮」、因子c32「連絡帳の活用」の5因子であった。

表12-1 因子間の相関係数①

	因子a1 「ほめる」	因子a2 「詳しく 聞く」	因子a3 「抱くスキ ンシップ」	因子a4 「触れる スキ ン シ ッ プ」	因子a5 「叱り方」	因子a6 「自尊心へ の配慮」	因子a7 「励まし」	因子a8 「乳児スキ ンシップ」	因子a9 「声の かけ方」
因子a1「ほめる」	1.000	0.381 **	0.247 **	0.278 **	0.314 **	0.139 **	0.444 **	0.183 **	0.392 **
因子a2「詳しく聞く」	0.381 **	1.000	0.296 **	0.352 **	0.480 **	0.349 **	0.404 **	0.145 *	0.410 **
因子a3「抱くスキンシップ」	0.247 **	0.296 **	1.000	0.547 **	0.133 **	0.180 **	0.319 **	0.404 **	0.342 **
因子a4「触れるスキンシップ」	0.278 **	0.352 **	0.547 **	1.000	0.248 **	0.253 **	0.283 **	0.338 **	0.358 **
因子a5「叱り方」	0.314 **	0.480 **	0.133 **	0.248 **	1.000	0.222 **	0.316 **	0.018	0.266 **
因子a6「自尊心への配慮」	0.139 **	0.349 **	0.180 **	0.253 **	0.222 **	1.000	0.211 **	0.232 **	0.229 **
因子a7「励まし」	0.444 **	0.404 **	0.319 **	0.283 **	0.316 **	0.211 **	1.000	0.163 **	0.344 **
因子a8「乳児スキンシップ」	0.183 **	0.145 *	0.404 **	0.338 **	0.018	0.232 **	0.163 **	1.000	0.182 **
因子a9「声のかけ方」	0.392 **	0.410 **	0.342 **	0.358 **	0.266 **	0.229 **	0.344 **	0.182 **	1.000
因子a10「観察位置・姿勢」	0.288 **	0.444 **	0.339 **	0.369 **	0.233 **	0.216 **	0.273 **	0.210 **	0.405 **
因子a11「主に関わる子」	-0.001	-0.003	0.102 *	0.044	0.020	0.006	0.135 **	0.054	0.046
因子a12「叱る場所」	-0.006	0.019	0.032	0.140 **	0.007	0.123 **	0.008	0.067	0.019
因子a13「はじめのつけ方」	0.178 **	0.030	0.267 **	0.234 **	0.042	-0.206 **	0.113 **	0.082	0.102 **
因子a14「感情の表出」	0.000	-0.051	-0.007	-0.054	0.038	-0.196 **	-0.081 *	-0.119 *	-0.099 *
因子a15「援助のスタート」	-0.061	0.035	-0.067	-0.039	0.019	0.073	-0.035	-0.063	-0.091 *
因子b1「トラブルを止めるタイミング」	0.043	0.005	0.150 **	0.035	0.013	-0.135 **	0.197 **	0.063	0.056
因子b2「作業時の配慮」	0.169 **	0.394 **	0.117 **	0.236 **	0.379 **	0.250 **	0.251 **	-0.097	0.206 **
因子b3「一人ひとりの道具」	0.033	0.004	-0.125 **	-0.161 **	0.062	-0.070	0.025	-0.147 *	-0.100 *
因子b4「動物のケア」	0.005	0.037	-0.018	-0.026	0.038	0.147 **	0.070	0.066	-0.027
因子b5「植物のケア」	0.055	0.159 **	0.112 **	0.118 **	0.086 *	0.144 **	0.105 **	0.174 **	0.158 **
因子b6「いざこざへの対処」	0.080 *	0.183 **	0.120 **	0.198 **	0.151 **	0.168 **	0.196 **	0.000	0.090 **
因子b7「よく使う道具の置場」	-0.016	-0.009	0.134 **	0.054	0.014	0.044	-0.045	0.080	0.038
因子b8「部屋への出入り」	0.142 **	0.111 **	0.065	0.077	0.180 **	0.108 **	0.084 **	0.036	0.179 **
因子b9「異年齢児との交流」	0.132 **	0.135 **	0.136 **	0.261 **	0.145 **	0.122 **	0.067	0.052	0.269 **
因子b10「説明時の形態」	-0.093 *	-0.005	0.003	0.031	-0.034	0.093 *	-0.016	0.057	0.045
因子b11「個別の対応」	0.235 **	0.215 **	0.150 **	0.176 **	0.276 **	0.089 *	0.190 **	0.023	0.148 **
因子b12「集団活動への配慮」	0.141 **	0.055	0.230 **	0.136 **	0.055	-0.005	0.143 **	0.045	0.120 **
因子b13「クラスを越えた活動」	-0.027	-0.001	0.001	0.052	0.001	0.054	-0.023	0.129 *	-0.033
因子b14「トイレ・着替え」	0.067	0.041	-0.015	0.049	0.074	0.087 *	0.031	0.135 *	-0.034
因子c1「個別の説明・相談」	0.254 **	0.279 **	0.247 **	0.250 **	0.250 **	0.176 **	0.222 **	0.294 **	0.206 **
因子c2「お便りの活用」	0.101 *	0.172 **	0.153 **	0.095 *	0.098 *	0.108 **	0.160 **	0.152 **	0.055
因子c3「連絡帳の活用」	0.083 *	-0.013	0.198 **	0.156 **	-0.016	-0.008	0.076	0.170 **	0.065
因子c4「病気・怪我への対応」	0.238 **	0.320 **	0.139 **	0.178 **	0.290 **	0.159 **	0.181 **	0.179 **	0.199 **
年齢区分(階層別)	-0.056	0.051	0.014	0.101 *	-0.036	0.054	0.072	0.014	0.160 **
経験年数の区分	-0.048	0.052	0.002	0.089 *	-0.016	0.023	0.046	0.010	0.164 **

n = 587~662 ただし、因子a8については、幼稚園用の調査票から設問(100)を除いたため、  
n = 280~291となっている。 \*\* P < .01 \* P < .05

表12-2 因子間の相関係数②

	因子a10 「観察位置・姿勢」	因子a11 「主に関わる子」	因子a12 「叱る場所」	因子a13 「けじめのつけ方」	因子a14 「感情の表出」	因子a15 「援助のスタート」	因子b1 「トラブルを止めるタイミング」	因子b2 「作業時の配慮」	因子b3 「一人ひとりの道具」
因子a1「ほめる」	0.288 **	-0.001	-0.006	0.178 **	0.000	-0.061	0.043	0.169 **	0.033
因子a2「詳しく聞く」	0.444 **	-0.003	0.019	0.030	-0.051	0.035	0.005	0.394 **	0.004
因子a3「抱くスキンシップ」	0.339 **	0.102 *	0.032	0.267 **	-0.007	-0.067	0.150 **	0.117 **	-0.125 **
因子a4「触れるスキンシップ」	0.369 **	0.044	0.140 **	0.234 **	-0.054	-0.039	0.035	0.236 **	-0.161 **
因子a5「叱り方」	0.233 **	0.020	0.007	0.042	0.038	0.019	0.013	0.379 **	0.062
因子a6「自尊心への配慮」	0.216 **	0.006	0.123 **	-0.206 **	-0.196 **	0.073	-0.135 **	0.250 **	-0.070
因子a7「励まし」	0.273 **	0.135 **	0.008	0.113 **	-0.081 *	-0.035	0.197 **	0.251 **	0.025
因子a8「乳児スキンシップ」	0.210 **	0.054	0.067	0.082	-0.119 *	-0.063	0.063	-0.097	-0.147 *
因子a9「声のかけ方」	0.405 **	0.046	0.019	0.102 **	-0.099 *	-0.091 *	0.056	0.206 **	-0.100 *
因子a10「観察位置・姿勢」	1.000	0.125 **	0.077	0.094 *	-0.066	0.044	0.026	0.246 **	-0.054
因子a11「主に関わる子」	0.125 **	1.000	0.155 **	0.016	-0.005	-0.057	0.045	0.030	0.053
因子a12「叱る場所」	0.077	0.155 **	1.000	-0.090 **	-0.129 **	0.018	-0.157 **	0.101 *	0.081 *
因子a13「けじめのつけ方」	0.094 *	0.016	-0.090 **	1.000	0.120 **	-0.013	0.150 **	-0.046	-0.078 *
因子a14「感情の表出」	-0.066	-0.005	-0.129 **	0.120 **	1.000	0.005	0.158 **	-0.080 *	0.029
因子a15「援助のスタート」	0.044	-0.057	0.018	-0.013	0.005	1.000	-0.198 **	0.064	0.046
因子b1「トラブルを止めるタイミング」	0.026	0.045	-0.157 **	0.150 **	0.158 **	-0.198 **	1.000	-0.076	-0.013
因子b2「作業時の配慮」	0.246 **	0.030	0.101 *	-0.046	-0.080 *	0.064	-0.076	1.000	0.106 **
因子b3「一人ひとりの道具」	-0.054	0.053	0.081 *	-0.078 *	0.029	0.046	-0.013	0.106 **	1.000
因子b4「動物のケア」	-0.100 *	0.105 **	0.122 **	-0.239 **	-0.002	0.027	-0.087 *	0.114 **	0.053
因子b5「植物のケア」	0.101 *	-0.014	0.136 **	-0.082 *	-0.028	0.005	-0.074	0.182 **	0.062
因子b6「いざごさへの対処」	0.125 **	0.133 **	0.165 **	0.082 *	-0.094 *	0.190 **	-0.306 **	0.199 **	0.115 **
因子b7「よく使う道具の置場」	-0.010	0.041	-0.090 *	-0.002	0.011	0.038	0.043	-0.057	-0.164 **
因子b8「部屋への出入り」	0.072	0.043	0.059	0.025	0.045	-0.003	-0.067	0.222 **	0.027
因子b9「異年齢児との交流」	0.209 **	0.004	0.074	0.112 **	-0.054	0.081 *	-0.125 **	0.109 **	-0.055
因子b10「説明時の形態」	-0.007	0.073	0.012	-0.046	-0.076	0.050	-0.088 *	-0.028	-0.188 **
因子b11「個別の対応」	0.169 **	0.021	-0.055	0.030	0.054	-0.066	0.077	0.141 **	-0.054
因子b12「集団活動への配慮」	0.099 *	0.009	0.001	0.048	0.049	-0.077	0.138 **	0.049	0.077
因子b13「クラスを越えた活動」	0.042	0.094 *	0.047	-0.057	0.030	-0.026	-0.017	0.003	-0.130 **
因子b14「トイレ・着替え」	0.008	-0.002	-0.016	-0.083 *	0.074	-0.003	0.012	0.052	0.073
因子c1「個別の説明・相談」	0.205 **	0.013	0.028	0.020	0.037	-0.005	0.142 **	0.200 **	0.062
因子c2「お便りの活用」	0.036	-0.025	0.032	-0.067	0.089 *	0.050	-0.031	0.134 **	-0.014
因子c3「連絡帳の活用」	0.045	0.107 **	-0.031	0.229 **	-0.032	-0.006	0.067	-0.012	-0.177 **
因子c4「病気・怪我への対応」	0.165 **	-0.015	0.022	0.057	0.032	-0.001	0.005	0.207 **	-0.017
年齢区分（階層別）	0.140 **	0.105 **	0.164 **	0.068	-0.289 **	0.084 *	-0.108 **	0.064	-0.094 *
経験年数の区分	0.149 **	0.111 **	0.168 **	0.092 *	-0.245 **	0.071	-0.109 **	0.049	-0.049

n = 587~662 ただし、因子a8については、幼稚園用の調査票から設問100)を除いたため、  
n = 280~291となっている。 \*\* P < .01 \* P < .05



表12-3 因子間の相関係数③

	因子b4 「動物の ケア」	因子b5 「植物の ケア」	因子b6 「いざこざ への対処」	因子b7 「よく使う 道具の 置 場」	因子b8 「部屋への 出入り」	因子b9 「異年齢 児との 交 流」	因子b10 「説明時 の形態」	因子b11 「個別の 対 応」	因子b12 「集団 活動へ の配慮」
因子a1「ほめる」	0.005	0.055	0.080 *	-0.016	0.142 **	0.132 **	-0.093 *	0.235 **	0.141 **
因子a2「詳しく聞く」	0.037	0.159 **	0.183 **	-0.009	0.111 **	0.135 **	-0.005	0.215 **	0.055
因子a3「抱くスキンシップ」	-0.018	0.112 **	0.120 **	0.134 **	0.065	0.136 **	0.003	0.150 **	0.230 **
因子a4「触れるスキンシップ」	-0.026	0.118 **	0.198 **	0.054	0.077	0.261 **	0.031	0.176 **	0.136 **
因子a5「叱り方」	0.038	0.086 *	0.151 **	0.014	0.180 **	0.145 **	-0.034	0.276 **	0.055
因子a6「自尊心への配慮」	0.147 **	0.144 **	0.168 **	0.044	0.108 **	0.122 **	0.093 *	0.089 *	-0.005
因子a7「励まし」	0.070	0.105 **	0.196 **	-0.045	0.084 *	0.067	-0.016	0.190 **	0.143 **
因子a8「乳児スキンシップ」	0.066	0.174 **	0.000	0.080	0.036	0.052	0.057	0.023	0.045
因子a9「声のかけ方」	-0.027	0.158 **	0.090 *	0.038	0.179 **	0.269 **	0.045	0.148 **	0.120 **
因子a10「観察位置・姿勢」	-0.100 *	0.101 *	0.125 **	-0.010	0.072	0.209 **	-0.007	0.169 **	0.099 *
因子a11「主に関わる子」	0.105 **	-0.014	0.133 **	0.041	0.043	0.004	0.073	0.021	0.009
因子a12「叱る場所」	0.122 **	0.136 **	0.165 **	-0.090 *	0.059	0.074	0.012	-0.055	0.001
因子a13「けじめのつけ方」	-0.239 **	-0.082 *	0.082 *	-0.002	0.025	0.112 **	-0.046	0.030	0.048
因子a14「感情の表出」	-0.002	-0.028	-0.094 *	0.011	0.045	-0.054	-0.076	0.054	0.049
因子a15「援助のスタート」	0.027	0.005	0.190 **	0.038	-0.003	0.081 *	0.050	-0.066	-0.077
因子b1「トラブルを止めるタイミング」	-0.087 *	-0.074	-0.306 **	0.043	-0.067	-0.125 **	-0.088 *	0.077	0.138 **
因子b2「作業時の配慮」	0.114 **	0.182 **	0.199 **	-0.057	0.222 **	0.109 **	-0.028	0.141 **	0.049
因子b3「一人ひとりの道具」	0.053	0.062	0.115 **	-0.164 **	0.027	-0.055	-0.188 **	-0.054	0.077
因子b4「動物のケア」	1.000	0.323 **	0.059	-0.037	0.181 **	-0.077	0.068	0.010	0.040
因子b5「植物のケア」	0.323 **	1.000	0.135 **	-0.114 **	0.191 **	0.135 **	0.018	0.006	0.025
因子b6「いざこざへの対処」	0.059	0.135 **	1.000	-0.009	0.139 **	0.189 **	-0.003	-0.028	-0.019
因子b7「よく使う道具の置場」	-0.037	-0.114 **	-0.009	1.000	0.028	-0.037	-0.018	0.105 **	0.097 *
因子b8「部屋への出入り」	0.181 **	0.191 **	0.139 **	0.028	1.000	0.144 **	0.073	0.118 **	0.074
因子b9「異年齢児との交流」	-0.077	0.135 **	0.189 **	-0.037	0.144 **	1.000	-0.025	0.144 **	0.020
因子b10「説明時の形態」	0.068	0.018	-0.003	-0.018	0.073	-0.025	1.000	-0.068	-0.070
因子b11「個別の対応」	0.010	0.006	-0.028	0.105 **	0.118 **	0.144 **	-0.068	1.000	0.079 *
因子b12「集団活動への配慮」	0.040	0.025	-0.019	0.097 *	0.074	0.020	-0.070	0.079 *	1.000
因子b13「クラスを越えた活動」	0.121 **	0.168 **	-0.019	0.062	0.090 *	-0.011	0.077	-0.084 *	-0.003
因子b14「トイレ・着替え」	0.203 **	0.103 **	-0.070	0.002	0.114 **	-0.142 **	-0.026	0.077	0.049
因子c1「個別の説明・相談」	0.139 **	0.138 **	0.076	0.051	0.159 **	0.006	-0.013	0.129 **	0.156 **
因子c2「お便りの活用」	0.196 **	0.157 **	0.090 *	0.005	0.100 *	-0.002	-0.032	0.124 **	0.074
因子c3「連絡帳の活用」	-0.163 **	0.033	0.043	-0.028	0.025	0.168 **	-0.002	0.048	0.108 **
因子c4「病気・怪我への対応」	0.025	0.111 **	0.011	-0.006	0.165 **	0.069	0.059	0.166 **	0.067
年齢区分(階層別)	-0.161 **	0.007	0.102 *	-0.019	-0.006	0.085 *	0.218 **	-0.135 **	-0.079 *
経験年数の区分	-0.137 **	0.027	0.080 *	-0.035	-0.018	0.095 *	0.214 **	-0.114 **	-0.055

n = 587~662 ただし、因子a8については、幼稚園用の調査票から設問(100)を除いたため、  
n = 280~291となっている。 \*\* P < .01 \* P < .05

表12-4 因子間の相関係数④

	因子b13 「クラスを越えた活動」	因子b14 「トイレ・着替え」	因子c1 「個別の説明・相談」	因子c2 「お便りの活用」	因子c3 「連絡帳の活用」	因子c4 「病気・怪我への対応」	年齢区分 (階層別)	経験年数の区分
因子a1「ほめる」	-0.027	0.067	0.254 **	0.101 *	0.083 *	0.238 **	-0.056	-0.048
因子a2「詳しく聞く」	-0.001	0.041	0.279 **	0.172 **	-0.013	0.320 **	0.051	0.052
因子a3「抱くスキンシップ」	0.001	-0.015	0.247 **	0.153 **	0.198 **	0.139 **	0.014	0.002
因子a4「触れるスキンシップ」	0.052	0.049	0.250 **	0.095 *	0.156 **	0.178 **	0.101 *	0.089 *
因子a5「叱り方」	0.001	0.074	0.250 **	0.098 *	-0.016	0.290 **	-0.036	-0.016
因子a6「自尊心への配慮」	0.054	0.087 *	0.176 **	0.108 **	-0.008	0.159 **	0.054	0.023
因子a7「励まし」	-0.023	0.031	0.222 **	0.160 **	0.076	0.181 **	0.072	0.046
因子a8「乳児スキンシップ」	0.129 *	0.135 *	0.294 **	0.152 **	0.170 **	0.179 **	0.014	0.010
因子a9「声のかけ方」	-0.033	-0.034	0.206 **	0.055	0.065	0.199 **	0.160 **	0.164 **
因子a10「観察位置・姿勢」	0.042	0.008	0.205 **	0.036	0.045	0.165 **	0.140 **	0.149 **
因子a11「主に関わる子」	0.094 *	-0.002	0.013	-0.025	0.107 **	-0.015	0.105 **	0.111 **
因子a12「叱る場所」	0.047	-0.016	0.028	0.032	-0.031	0.022	0.164 **	0.168 **
因子a13「けじめのつけ方」	-0.057	-0.083 *	0.020	-0.067	0.229 **	0.057	0.068	0.092 *
因子a14「感情の表出」	0.030	0.074	0.037	0.089 *	-0.032	0.032	-0.289 **	-0.245 **
因子a15「援助のスタート」	-0.026	-0.003	-0.005	0.050	-0.006	-0.001	0.084 *	0.071
因子b1「トラブルを止めるタイミング」	-0.017	0.012	0.142 **	-0.031	0.067	0.005	-0.108 **	-0.109 **
因子b2「作業時の配慮」	0.003	0.052	0.200 **	0.134 **	-0.012	0.207 **	0.064	0.049
因子b3「一人ひとりの道具」	-0.130 **	0.073	0.062	-0.014	-0.177 **	-0.017	-0.094 *	-0.049
因子b4「動物のケア」	0.121 **	0.203 **	0.139 **	0.196 **	-0.163 **	0.025	-0.161 **	-0.137 **
因子b5「植物のケア」	0.168 **	0.103 **	0.138 **	0.157 **	0.033	0.111 **	0.007	0.027
因子b6「いざこざへの対処」	-0.019	-0.070	0.076	0.090 *	0.043	0.011	0.102 *	0.080 *
因子b7「よく使う道具の置場」	0.062	0.002	0.051	0.005	-0.028	-0.006	-0.019	-0.035
因子b8「部屋への出入り」	0.090 *	0.114 **	0.159 **	0.100 *	0.025	0.165 **	-0.006	-0.018
因子b9「異年齢児との交流」	-0.011	-0.142 **	0.006	-0.002	0.168 **	0.069	0.085 *	0.095 *
因子b10「説明時の形態」	0.077	-0.026	-0.013	-0.032	-0.002	0.059	0.218 **	0.214 **
因子b11「個別の対応」	-0.084 *	0.077	0.129 **	0.124 **	0.048	0.166 **	-0.135 **	-0.114 **
因子b12「集団活動への配慮」	-0.003	0.049	0.156 **	0.074	0.108 **	0.067	-0.079 *	-0.055
因子b13「クラスを越えた活動」	1.000	0.083 *	0.059	0.032	0.088 *	-0.023	0.087 *	0.072
因子b14「トイレ・着替え」	0.083 *	1.000	0.135 **	0.148 **	-0.013	0.008	-0.214 **	-0.162 **
因子c1「個別の説明・相談」	0.059	0.135 **	1.000	0.216 **	-0.023	0.251 **	-0.058	-0.070
因子c2「お便りの活用」	0.032	0.148 **	0.216 **	1.000	0.067	0.187 **	-0.130 **	-0.119 **
因子c3「連絡帳の活用」	0.088 *	-0.013	-0.023	0.067	1.000	0.101 *	0.115 **	0.087 *
因子c4「病気・怪我への対応」	-0.023	0.008	0.251 **	0.187 **	0.101 *	1.000	0.090 *	0.090 *
年齢区分(階層別)	0.087 *	-0.214 **	-0.058	-0.130 **	0.115 **	0.090 *	1.000	0.864 **
経験年数の区分	0.072	-0.162 **	-0.070	-0.119 **	0.087 *	0.090 *	0.864 **	1.000

n=587~662 ただし、因子a8については、幼稚園用の調査票から設問(100)を除いたため、n=280~291となっている。 \*\* P<.01 \* P<.05

表13 分散分析の結果

		度数	平均値	標準偏差	自由度	F 値			度数	平均値	標準偏差	自由度	F 値
因子a1 「ほめる」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	465 121 52 638	18.91 19.00 18.87 18.92	1.72 1.88 1.72 1.75	2,635	0.16	因子b3 「一人ひとりの道具」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	462 121 53 636	7.12 5.39 7.13 6.79	1.54 2.47 1.79 1.90	2,633	46.75**
因子a2 「詳しく聞く」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	462 121 51 634	17.19 17.03 17.27 17.17	2.06 2.29 2.22 2.12	2,631	0.35	因子b4 「動物のケア」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	459 122 52 633	5.08 3.93 4.77 4.83	2.29 2.06 2.21 2.29	2,630	12.67**
因子a3 「抱くスキンシップ」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	447 121 50 618	13.94 15.35 13.96 14.21	2.66 2.60 2.52 2.69	2,615	13.90**	因子b5 「植物のケア」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	456 120 51 627	9.77 9.25 10.04 9.69	2.31 2.33 2.27 2.32	2,624	3.04*
因子a4 「触れるスキンシップ」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	433 123 49 605	15.43 16.72 15.67 15.71	2.49 2.15 2.46 2.47	2,602	13.70**	因子b6 「いざこざへの対処」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	450 123 53 626	8.58 8.35 8.85 8.56	1.51 1.59 1.65 1.54	2,623	2.14
因子a5 「叱り方」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	459 122 52 633	10.77 10.21 10.77 10.66	1.30 1.52 1.26 1.36	2,630	8.43**	因子b7 「よく使う道具の」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	461 123 49 633	4.32 4.88 4.14 4.42	2.42 1.67 2.06 2.28	2,630	3.29*
因子a6 「自尊心への配慮」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	460 124 52 636	10.28 10.03 10.38 10.24	1.53 1.91 1.46 1.61	2,633	1.43	因子b8 「部屋への出入り」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	458 121 53 632	10.78 10.05 10.55 10.62	1.43 1.76 1.61 1.53	2,629	11.39**
因子a7 「励まし」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	455 120 51 626	12.46 12.34 12.63 12.45	1.69 2.08 1.83 1.78	2,623	0.49	因子b9 「異年齢児との交流」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	457 122 49 628	10.93 11.23 10.71 10.97	1.51 1.13 1.43 1.44	2,625	2.95
因子a8 「乳児スキンシップ」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	168 100 21 289	8.03 9.93 9.62 8.80	2.08 1.76 1.32 2.13	2,286	32.38**	因子b10 「説明時の形態」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	460 123 51 634	4.34 4.69 4.86 4.45	1.51 1.44 1.40 1.50	2,631	4.91**
因子a9 「声のかけ方」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	467 124 54 645	10.97 11.27 11.13 11.04	1.15 1.19 1.06 1.16	2,642	3.53*	因子b11 「個別の対応」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	449 123 49 621	10.41 10.41 10.02 10.38	1.32 1.56 1.39 1.38	2,618	1.78
因子a10 「観察位置・姿勢」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	455 125 53 633	12.66 13.31 12.72 12.79	1.54 1.70 1.82 1.62	2,630	8.23**	因子b12 「集団活動への配慮」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	458 123 49 630	8.80 8.55 8.63 8.74	1.94 2.16 2.17 2.00	2,627	0.79
因子a11 「主に関わる子」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	456 121 50 627	7.08 6.76 7.66 7.07	1.50 1.77 1.56 1.57	2,624	5.99**	因子b13 「クラスを越えた活動」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	455 120 52 627	4.07 4.08 4.92 4.14	1.75 1.77 1.93 1.78	2,624	5.49**
因子a12 「叱る場所」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	463 122 54 639	5.33 5.13 5.74 5.33	1.24 1.24 1.26 1.25	2,636	4.52*	因子b14 「トイレ・着替え」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	459 120 52 631	6.26 5.96 6.25 6.20	1.83 2.10 1.90 1.89	2,628	1.26
因子a13 「けじめのつけ方」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	458 124 52 634	7.14 7.86 7.40 7.30	1.73 1.74 1.52 1.73	2,631	8.79**	因子c1 「個別の説明・相談」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	447 120 49 616	12.99 12.94 13.43 13.02	2.15 2.35 2.00 2.18	2,613	0.98
因子a14 「感情の表出」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	463 125 53 641	2.71 2.59 2.47 2.67	0.73 0.67 0.85 0.73	2,638	3.31*	因子c2 「お便りの活用」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	462 122 51 635	7.21 6.82 7.20 7.13	1.50 2.01 1.28 1.60	2,632	2.91
因子a15 「援助のスタート」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	464 123 53 640	5.08 4.87 5.30 5.05	1.02 0.88 0.89 0.99	2,637	3.93*	因子c3 「連絡帳の活用」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	455 122 50 627	5.43 6.91 6.36 5.79	2.21 1.64 1.99 2.18	2,624	25.98**
因子b1 「トラブルを止めるタイミング」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	455 121 50 626	6.54 6.94 6.52 6.62	1.77 1.91 1.88 1.81	2,623	2.47	因子c4 「病気・怪我への対応」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	462 124 53 639	7.74 7.74 7.85 7.75	0.55 0.73 0.50 0.59	2,636	0.83
因子b2 「作業時の配慮」	3歳以上担当 3歳未満担当 その他 合計	446 116 49 611	19.54 18.14 19.39 19.27	2.19 2.66 2.66 2.39	2,608	16.90**							

\*\* p < .01  
\* p < .05

表14 グループ内の差異

Tukey HSD

従属変数	(I)3歳未満児 ・3歳以上児 区分	(J)3歳未満児 ・3歳以上児 区分	有意 確率	従属変数	(I)3歳未満児 ・3歳以上児 区分	(J)3歳未満児 ・3歳以上児 区分	有意 確率	
因子a3 「抱くスキ ンシップ」	3歳以上担当	3歳未満担当	0.000	因子b2 「作業時 の配慮」	3歳以上担当	3歳未満担当	0.000	
		その他	0.998			その他	0.895	
	3歳未満担当	3歳以上担当	0.000			3歳未満担当	3歳以上担当	0.000
		その他	0.005			その他	0.005	
	その他	3歳以上担当	0.998		その他	3歳以上担当	0.895	
		3歳未満担当	0.005			3歳未満担当	0.005	
因子a4 「触れるス キンシップ」	3歳以上担当	3歳未満担当	0.000	因子b3 「一人ひとり の道具」	3歳以上担当	3歳未満担当	0.000	
		その他	0.782			その他	0.999	
	3歳未満担当	3歳以上担当	0.000			3歳未満担当	3歳以上担当	0.000
		その他	0.028			その他	0.000	
	その他	3歳以上担当	0.782		その他	3歳以上担当	0.999	
		3歳未満担当	0.028			3歳未満担当	0.000	
因子a5 「叱り方」	3歳以上担当	3歳未満担当	0.000	因子b4 「動物の ケア」	3歳以上担当	3歳未満担当	0.000	
		その他	1.000			その他	0.618	
	3歳未満担当	3歳以上担当	0.000			3歳未満担当	3歳以上担当	0.000
		その他	0.033			その他	0.060	
	その他	3歳以上担当	1.000		その他	3歳以上担当	0.618	
		3歳未満担当	0.033			3歳未満担当	0.060	
因子a8 「乳児スキ ンシップ」	3歳以上担当	3歳未満担当	0.000	因子b8 「部屋への 出入り」	3歳以上担当	3歳未満担当	0.000	
		その他	0.001			その他	0.526	
	3歳未満担当	3歳以上担当	0.000			3歳未満担当	3歳以上担当	0.000
		その他	0.780			その他	0.112	
	その他	3歳以上担当	0.001		その他	3歳以上担当	0.526	
		3歳未満担当	0.780			3歳未満担当	0.112	
因子a10 「観察位 置・姿勢」	3歳以上担当	3歳未満担当	0.000	因子b10 「説明時 の形態」	3歳以上担当	3歳未満担当	0.050	
		その他	0.967			その他	0.044	
	3歳未満担当	3歳以上担当	0.000			3歳未満担当	3歳以上担当	0.050
		その他	0.060			その他	0.767	
	その他	3歳以上担当	0.967		その他	3歳以上担当	0.044	
		3歳未満担当	0.060			3歳未満担当	0.767	
因子a11 「主に関 わる子」	3歳以上担当	3歳未満担当	0.106	因子b13 「クラスを越 えた活動」	3歳以上担当	3歳未満担当	1.000	
		その他	0.035			その他	0.003	
	3歳未満担当	3歳以上担当	0.106			3歳未満担当	3歳以上担当	1.000
		その他	0.002			その他	0.011	
	その他	3歳以上担当	0.035		その他	3歳以上担当	0.003	
		3歳未満担当	0.002			3歳未満担当	0.011	
因子a13 「けじめの つけ方」	3歳以上担当	3歳未満担当	0.000	因子c3 「連絡帳 の活用」	3歳以上担当	3歳未満担当	0.000	
		その他	0.543			その他	0.008	
	3歳未満担当	3歳以上担当	0.000			3歳未満担当	3歳以上担当	0.000
		その他	0.236			その他	0.262	
	その他	3歳以上担当	0.543		その他	3歳以上担当	0.008	
		3歳未満担当	0.236			3歳未満担当	0.262	

さらに、3歳未満児担当とその他の担当との間で有意差が示されたのは、因子a3「抱きしめるスキンシップ」、因子a4「触れるスキンシップ」、因子a5「叱り方」、因子a11「主に関わろうとする子」、因子b2「作業のさいの配慮」、因子b3「一人ひとりの道具」、因子b13「クラスを越えた活動の配慮」の7因子であった。

## 5. 今後の課題

本稿では、因子分析を中心に行うことによって、幼稚園・保育所に勤務する保育者におけるケアリング行動の内実を抽出した。その結果、ノディングスのユニバーサル・カリキュラムの6領域は、幼稚園・保育所では当てはまらないことが、今回の調査から明らかになった。

しかしながら、因子分析によって抽出した因子間の関連の分析方法としては、今回行った相関分析等以外の手法による分析方法を検討する余地も残されてはいる。また、今回抽出した因子が、小学校以上の学校段階でも適用できるのかできないのかについても研究の余地がある。これらについて、今後の研究の課題としたい。

### 【註】

- (1) 日本におけるケアリングへの関心の高まりとしては、たとえば、以下の文献を挙げることができる。

佐藤学、1995年、『学び その死と再生』、太郎次郎社、161-172ページ。

藤田英典、1997年、『教育改革——共生時代の学校づくり——』、岩波書店、156-168ページ。

齋藤勉、1997年、『「いじめ問題」から授業・学校改革を考える』、明治図書、76-83ページ。

早川操、1999年、「『ケアリングマインド』育成のための教育理論とその課題——N.ノディングズによるケアの連鎖構造と同心円構造の考察を中心に——」、名古屋大学教育学部紀要（教育学）、第45巻第2号、85-103ページ。

林泰成編著、2000年、『ケアする心を育む道徳教育——伝統的な倫理学を越えて』、北大路書房。

- (2) メイヤロフの著作としては、以下のものを挙げるができる。

Milton Mayeroff, 1971, *On Caring*, Harper & Row. ミルトン・メイヤロフ著、田村真・向野宣之訳、1993年、『ケアの本質——生きることの意味』、ゆみる出版。

Milton Mayeroff, 1965, "On Caring", *International Philosophical Quarterly*, Vol. V, No. 3, pp. 462-474. この論文は、邦訳書の中で付録Iとして訳出されている。ミルトン・メイヤロフ著、田村真・向野宣之訳、1993年、『ケアの本質——生きることの意味』、ゆみる出版、183-215ページ。

また、ハルトの著作としては、以下のものを挙げるができる。

Richard E. Hult, Jr, 1979, "On Pedagogical Caring", *Educational Theory*, Vol. 29, No. 3, pp. 237-243. リチャード・E・ハルト・Jr. 著、齋藤勉他訳、1998年、「教育学的ケアリングについて」『教育哲学・道徳教育研究』、NO. 11、新潟大学教育学部教育学・道徳教育研究室。

さらに、ノディングスの著作としては、以下のものを挙げるができる。

Nel Noddings, 1984, *Caring: A Feminine Approach to Ethics & Moral Education*, University of California Press. ネル・ノディングズ著、立山善康・林泰成・清水重樹・宮崎宏志・新茂之訳、1997年、『ケアリング 倫理と道徳の教育——女性の観点から』、晃洋書房。Nel Noddings, 1992, *The Challenge to Care in Schools: An Alternative Approach to Education*, Teachers College Press. Nel Noddings, 1995, *The Philosophy of Education*, Westview Press.

- (3) Noddings, *Caring*, p. 180.

- (4) Noddings, *The Challenge to Care in Schools*, p.22. Noddings, *Philosophy of Education*, p.190.
- (5) Noddings, *The Challenge to Care in Schools*, p.73.
- (6) Ibid., pp.74-172.
- (7) 本稿は、日本教育技術学会第14回仙台大会（於：東北学院大学、2000年11月25日）の自由研究発表で行った研究発表をもとに再構成したものである。  
中野啓明、2000年、「保育者におけるケアリング行動の分析」、日本教育技術学会第14回仙台大会。